

令和元年度 第1回 神経・筋疾患ケアセミナー

「呼吸リハビリテーション」

令和元年 9月7日(土) 第1回神経・筋疾患ケアセミナーが開催されました。今回のテーマは「呼吸リハビリテーション」で、各施設の理学療法士さんや看護師さん等を対象に、施設や在宅で排痰援助が実践できることを目的としました。当院理学療法室において医師より神経筋疾患の呼吸理学療法について、続いて理学療法士より呼吸リハビリテーションの実際について、それぞれ講義を行いました。次に3つのグループに分かれ、理学療法士より呼吸介助による咳嗽介助方法と蘇生バックを使用した排痰援助・深吸気訓練 看護師による器械的咳介助(カフマシーン)方法について実際に体験学習を行いました。当日は、35人もの参加者があり全員が3項目を経験し、各グループで笑い声や驚きの声、掛け声などが聞かれ、実技サポートスタッフに直接質問され、活気のあるとても楽しいセミナーとなりました。

当院リハビリテーション科、井上貴美子医師の講義内容

「神経筋疾患の呼吸理学療法」について



当院理学療法士、久保美佳子の講義内容「神経難病患者の呼吸リハビリテーションについて」



【3つのグループに分かれて実技体験を実施】

咳嗽介助



みなさん、真剣な表情で取り組んでいました。まだまだ、実技時間をとって実演したかったですね。



カフマシーン

臨床工学技士さんにも参加してもらい、具体的な操作方法を教えてくださいました。



深吸気訓練

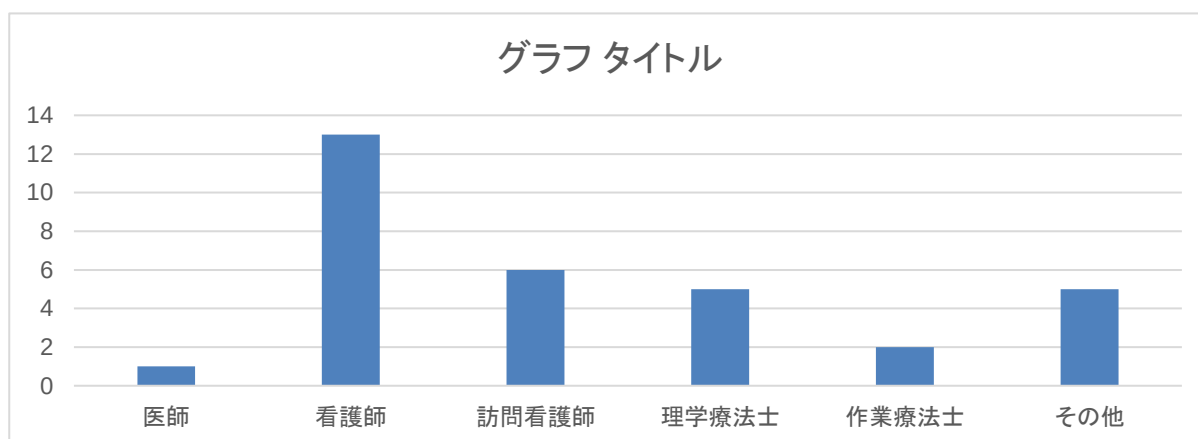




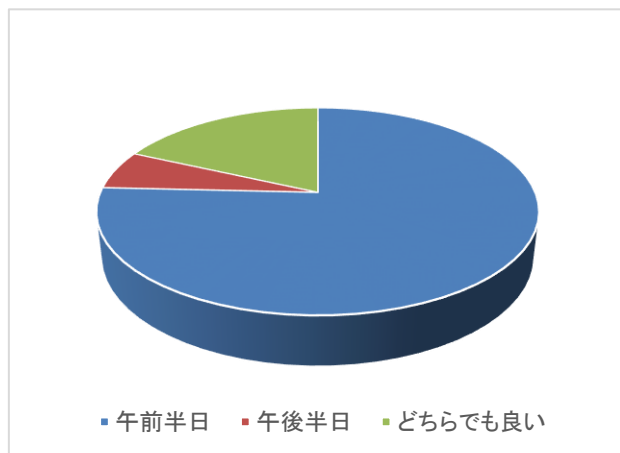
深吸気訓練は、1人ずつ全員が実演しました。バックバルブマスクは使い慣れていないと思いますが、感覚だけでもつかめれば幸いです。

研修終了後のアンケート結果 アンケート回収者 32 名(参加者 35 名)

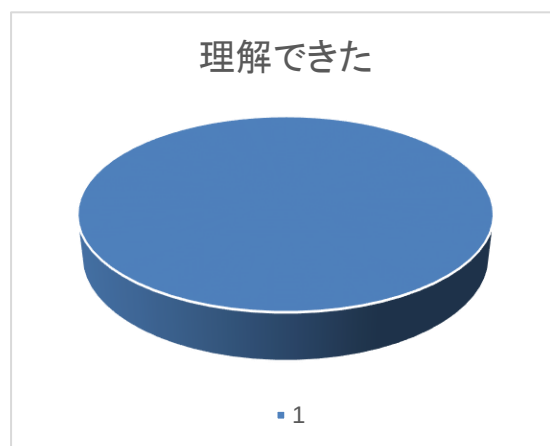
1. 参加者の打ち分け



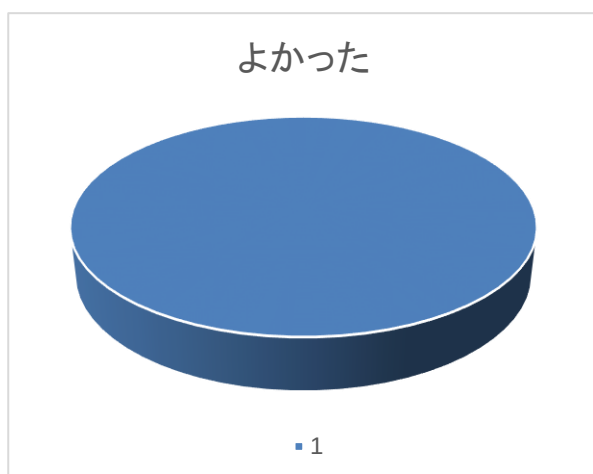
2. 今後の開催時間



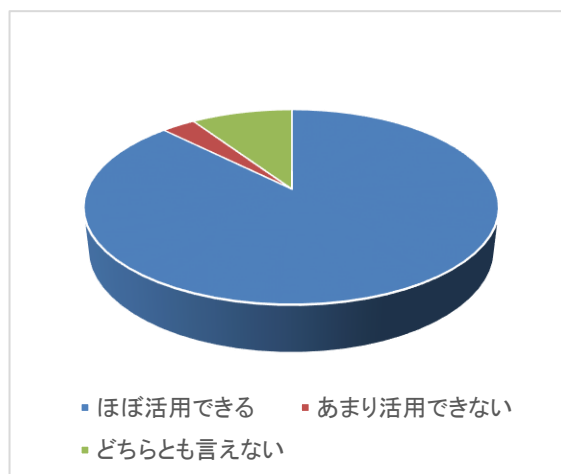
3. 講演内容について



4. 演習について



5. 在宅での活用



5. その他、ご意見、ご感想

- 知りたかったことがわかりました。楽しく学べました。
- 実践させていただき大変良かったです。
- 演習を通して患者体験もでき、自分の肺活量を知れ、身をもって呼吸リハが理解できた。
- 実技を三のテーマで 20 分ずつ行ったのは良かったと思います。
- 普段体験できないことを体験出来て良かったです。肺疾患と神経筋疾患の呼吸障害の違いを理解することができました。
- 大変聞き取りやすく話してくださり、分かりやすかったです。細やかな実技まで大変勉強になりました。
- 介護サービス事業所の為、難しかったですが今後、相談依頼があれば対応できるようにと思い参

加させていただきました。

- 演習を通して有効な活用方法を学ぶことができました。
- 演習させていただきとてもわかりやすかったです。質問にも丁寧に答えていただき勉強になりました。
- 本を読んでも実際に人を前にすると、力の加え方など分からないこともあり、実技練習できてよかった。
- 実技時間が長くなればうれしいです。

など、たくさんの意見や感想をいただきました。

今回の講習会を受講されたことによって、患者さまが少しでも楽に痰が出せるように、そして参加された方々が臨床で使用できれば幸いです。

大阪刀根山医療センター神経内科医師・看護師・理学療法士・他スタッフ一同

